

来月の消費予報

物価上昇の影響拡大で、11月の消費意欲指数は前月比・前年比ともに低下。「旅行」への消費意向のみ前年比増

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※10月3-6日に調査(詳細はP5) 2022年11月の消費意欲指数は45.8点。前月比は-1.1pt、前年比では-2.2ptの低下となりました。

11月の消費意欲指数



【前月比】

-1.1 ポイント

【前年比】

-2.2 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(11月)の消費意欲は何点くらいですか？」と質問。

カテゴリ別 消費意向



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ■ DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(11月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか？」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

11月のポイント

Point1：コロナ禍の影響は影を潜めるも、物価上昇の影響が前月より拡大

前年11月は、非常事態宣言の解除により消費意欲指数は前月より高まっていたが、今年は前月比-1.1pt、前年比-2.2ptとともに低下しており、最近5年間では、消費税増税の影響で大きく落ち込んだ2019年に次ぐ2番目に低い指数となりました。

消費意欲指数の理由(OA)をみると、前月比では、消費にポジティブな回答(10月376件→11月337件)は減少し、ネガティブな回答(10月832件→11月913件)が増加しています。具体的にポジティブな回答では、「(秋冬の服が欲しいなど)季節的な意欲向上(10月120件→92件)」が減少し、ネガティブな回答では「物価高/値上げ/円安(10月121件→199件)」の増加が目立っています。加えて、「(年末年始などのために)出費を控える(10月88件→136件)」も増加しています。

また、前年と比べると、コロナ禍に関する回答が、「緊急事態宣言が明けたので」などのポジティブな回答(21年11月90件→22年11月17件)も、「コロナで外出自粛」などのネガティブな回答(21年11月118件→22年11月9件)も大幅に減少しています。その一方で、「物価高/値上げ/円安(21年11月15件→22年11月199件)」は大幅に増加しました。

コロナ禍の消費意欲に対する影響はほとんどみられなくなりましたが、今秋の相次ぐ値上げラッシュの影響が前月より大きく、年末年始に向けた節約意識も加わることで、今年の11月は消費意欲が冷え込む月になりそうです。

Point2：消費意向は「旅行」のみ前年比増。食料品やイエナカ関連は低調

「特に買いたいモノ/利用したいサービスがある」人の割合は28.3%で、前月比は-1.8ptの低下、前年比では+1.4ptの上昇となりました。

カテゴリ別の消費意向をみると、前月比では「書籍・エンタメ」「食品」「飲料」が20件以上減少しています。また、前年比では、「旅行」が20件以上増加し、「書籍・エンタメ」「インテリア用品」「パソコン・タブレット・周辺機器」が20件以上減少しています。

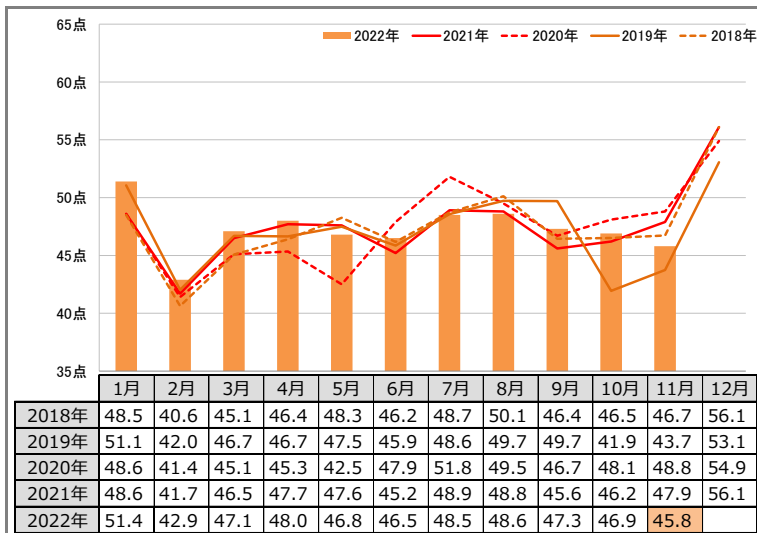
前月比では食料品、前年比ではイエナカ関連を中心に消費意向が伸びづらい状況にあるようですが、その中でも「旅行」に対しては、「全国旅行支援」も影響してか、高い消費意向がうかがえます。

消費意欲指数

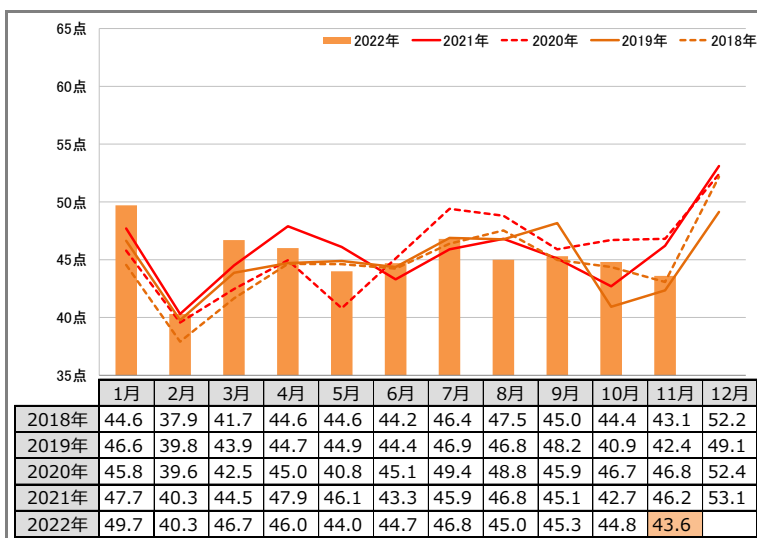
■ 時系列グラフ

Q.消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(11月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

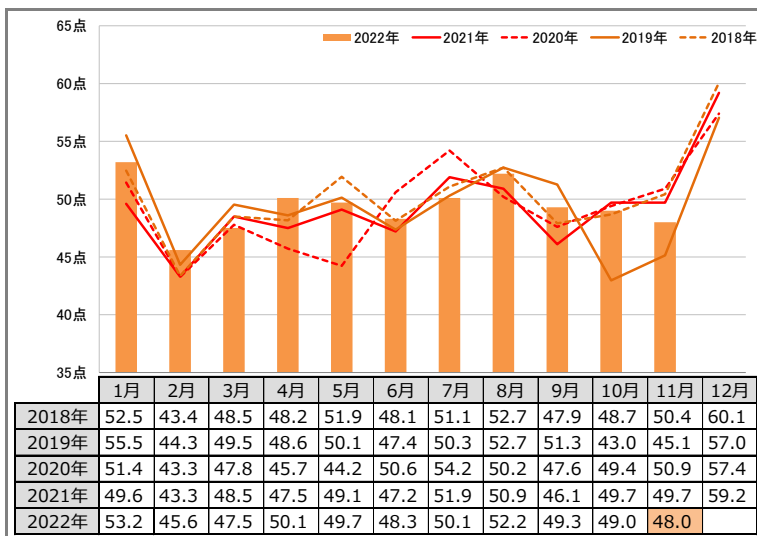
【全体】



【男性】



【女性】



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

(pt)

	(点)						22年11月比較	
	22年6月	22年7月	22年8月	22年9月	22年10月	22年11月	前月比	前年比
全体	46.5	48.5	48.6	47.3	46.9	45.8	-1.1	-2.2
男性	44.7	46.8	45.0	45.3	44.8	43.6	-1.3	-2.7
女性	48.3	50.1	52.2	49.3	49.0	48.0	-1.0	-1.7
20代	48.6	50.7	52.5	51.1	48.1	49.7	1.6	-0.3
30代	47.9	49.2	48.1	46.5	49.8	47.2	-2.6	-1.6
40代	47.5	49.2	45.6	46.4	45.0	44.4	-0.6	-2.1
50代	43.2	46.6	48.8	44.4	44.0	44.4	0.4	-3.8
60代	45.6	46.9	49.0	49.6	49.1	44.0	-5.0	-2.9

■ +3pt以上の増加
■ -3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q.(消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【物価高/値上げ/円安】>

- ・円安、燃料費の高騰、値上げのニュースが続き、収入の増加が見込めないため(30点・男性26歳・神奈川県)
- ・必要経費や税金・物価の上昇などが多く、自分用の経費が捻出し辛い(10点・男性39歳・愛知県)
- ・10月に多くの商品が値上げとなり、気持ちが冷えてきたため(20点・男性49歳・埼玉県)
- ・コロナが今後どの様になるのかわからず、物価も上がりつつあることから、極力節約、ケチケチ作戦をしたい(10点・男性58歳・大阪府)
- ・物の値段が高くて買えない。余計なものは買わない(10点・男性66歳・愛知県)
- ・買いたい気持ちはあるが、物価高騰しすぎて躊躇する(20点・女性28歳・大阪府)
- ・物価が上がってるので先月必要なものは買い揃えた(20点・女性31歳・愛知県)
- ・10月から特に食品において価格の値上げがあり、世帯収入が上がらない中で、自分が欲しい物を少し我慢する必要があり、無駄な物を購入する頻度を減らしたい(20点・女性42歳・埼玉県)
- ・物価が高くて節約をしないといけないと強く感じているが、ストレスを溜めないためにも少しは買いたくなるかも(20点・女性50歳・愛知県)
- ・年末年始には色々出費が重なるのと物価高なので買い控えようと思う(20点・女性62歳・兵庫県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【年末年始のために出費を控える】>

- ・年末年始に向けて貯金したい(20点・男性24歳・愛知県)
- ・12月に消費が多くなるので節約が必要になるからです(50点・男性37歳・埼玉県)
- ・クリスマス、正月に備えておきたいから(20点・男性44歳・三重県)
- ・今月と12月には出費予定があるので来月は静かに過ごしたいから(20点・男性58歳・兵庫県)
- ・1～2回ぐらい外食ができればよい。12月に向けて出費がかさむので、お金はとっておきたい(30点・男性65歳・神奈川県)
- ・買いたい気持ちはあるが年末に向けお金をおいておきたい(50点・女性28歳・大阪府)
- ・年末に向けて控えめにしようと思うから(30点・女性38歳・愛知県)
- ・年末に向けて無駄は省きたい(40点・女性49歳・埼玉県)
- ・年末に向けてお金を使いたくない(10点・女性50歳・大阪府)
- ・年末年始にまわりたいから(10点・女性63歳・神奈川県)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(9月1日～5日)後より今回調査(10月3日～6日)まで

- 9月上旬 全国新規感染者数は1週間平均で1日あたり10万人前後
- 9月7日 コロナリ患者の療養期間短縮(有症状者は10日→7日へ、無症状者は7日→5日へ)
- 9月20日 オミクロン株対応のワクチン接種開始
- 9月26日 リ患者の全数把握の簡略化が全国で開始
- 10月上旬 全国新規感染者数の減少は続き、1週間平均で1日あたり4万人を切る日も

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q.あなたが来月(11月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2022年11月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	28.3	-1.8	1.4
男性	23.9	-5.1	-1.9
女性	32.7	1.4	4.6

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q.特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(424人)

参考:男性(180人)

参考:女性(244人)

順位	カテゴリー	11月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	222	+ 7	+10
2	旅行	198	+11	+30
3	食品	184	-27	+19
4	外食	178	-17	+ 1
5	飲料	125	-21	+ 1
6	理美容	112	+ 4	+13
7	化粧品	108	±0	+ 3
8	レジャー	96	-15	- 9
9	日用品	93	- 5	-16
9	書籍・エンタメ	93	-32	-40
11	家電・A V	90	- 8	- 5
12	装飾品	60	+14	- 5
13	インテリア用品	51	- 1	-22
14	スマートフォン・携帯電話	50	- 1	- 8
15	パソコン・タブレット・周辺機器	47	-16	-21
16	車・バイク	36	-13	±0

順位	カテゴリー	11月 (人数)	前月比	前年比
1	旅行	85	- 8	-13
2	外食	71	- 8	- 8
3	食品	70	-19	+ 3
4	ファッション	67	- 9	-14
5	飲料	57	-12	- 3
6	家電・A V	52	- 3	+ 3
7	書籍・エンタメ	51	-16	-15
8	レジャー	49	- 2	- 1
9	車・バイク	32	- 6	+ 3
9	日用品	32	- 2	-12
11	パソコン・タブレット・周辺機器	30	-12	-16
12	スマートフォン・携帯電話	29	- 5	- 7
13	理美容	25	- 2	±0
14	装飾品	24	+ 5	- 5
15	インテリア用品	20	+ 4	- 5
16	化粧品	17	+ 7	+ 4

順位	カテゴリー	11月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	155	+16	+24
2	食品	114	- 8	+16
3	旅行	113	+19	+43
4	外食	107	- 9	+ 9
5	化粧品	91	- 7	- 1
6	理美容	87	+ 6	+13
7	飲料	68	- 9	+ 4
8	日用品	61	- 3	- 4
9	レジャー	47	-13	- 8
10	書籍・エンタメ	42	-16	-25
11	家電・A V	38	- 5	- 8
12	装飾品	36	+ 9	±0
13	インテリア用品	31	- 5	-17
14	スマートフォン・携帯電話	21	+ 4	- 1
15	パソコン・タブレット・周辺機器	17	- 4	- 5
16	車・バイク	4	- 7	- 3

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(11月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(11月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
調査対象者	20～69歳の男女					
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
サンプル数	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	143	187	169	136	757
女性	118	139	183	164	139	743
合計	240	282	370	333	275	1,500
調査方法	インターネット調査					
調査時期	2022年10月3日(月)～6日(木) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)					
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、10/24日付で「2022年10月 新型コロナウイルスに関する生活者調査」を発表いたしました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2022/10/20221024.pdf>

こちらは、毎月第3～4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤・内濱) 03-6441-6450 seikatsusoken.info@hakuhodo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(山田) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2022-11/>)からダウンロードしていただけます。